志国高知
幕末維新博
時代は土佐の山間より

四万十川と土佐一條家から はじまる小京都物語

四万十市
志国高知幕末維新博
周遊情報

自然・文化・歴史を巡る四万十の旅

平成29年(2017年)「大政奉還」150年
平成30年(2018年)「明治維新」150年

四万十川と土佐一條家からはじまる小京都物語

清流四万十川を旅する

「最後の清流」とよばれる四万十川。

四万十市はその中流域から下流域そして太平洋に注ぐ河口にかけて位置します。四万十川を代表する風景「沈下橋」は増水時に壊れにくい構造をしているなど、長い歳月をかけて人々は川とうまくつきあう知恵を培ってきました。

また、アユ・ウナギ・川エビ・アオノリなど豊かな川の幸と伝統的な川漁が受け継がれています。四万十川は流域全体が文部科学省の「文化的景観」に選定されていますが、それは風景の美しさだけでなく、人と自然との関わりの積み重ねの証。

川と人の暮らしがとても近い、四万十市は「川とともに生きるまち」です。

四万十川楽しみ方いろいろ

川を間近に感じられる観光遊覧船やカヌー体験、川沿いをのんびりサイクリング、形状や風景もさまざまな沈下橋めぐりなど、季節や自分のスタイルに合わせ、いろいろな楽しみ方をどうぞ。

天然の川の幸や塩たたきなど、山・川・海のおいしいものが詰まった四万十の食は、市内飲食店や道の駅「よって西土佐」など、ぜひ地元の店で味わってみてください。

土佐の小京都を旅する

四万十市（旧中村）のまちは、前関白一條教房公が応仁の乱による京都の荒廃を機に、領主自ら荘園を直接経営し回復をはかるため、応仁2年（1468）に高知県西部の中村へ下向し京都に擬して造られました。また、四万十川流域の豊かな森林資源は川を流して運び、京都一條邸の再建に用いられたと言われています。一條家はその後、天正2年（1574）に長宗我部元親によって豊後に追われるまで106年間栄えました。藩政時代には山内一豊の弟・康豊が治め、後に3万石の中村藩が誕生しました。

こうした歴史をもつ四万十市（旧中村）のまちは「土佐の小京都」とよばれています。四万十川の氾濫や火災、南海大地震等により、かつての城下町の姿を残す建物や町並みは残っていませんが、碁盤目状の町の通りや、祇園、京町、鴨川、東山などの地名にその名残が感じられます。

小京都の町歩き

国の重要文化財「不破八幡宮」、中村御所跡に建立されたと言われる「一條神社」をはじめ、市街地に点在する一條家ゆかりの史跡・墓所などが見られます。

また、「土佐一條公家行列（5月）」、「大文字の送り火（旧暦7月16日）」、「不破八幡宮大祭（9月）」、「一條大祭・御神火奉納行列（11月）」など季節によって小京都文化を感じさせる行事・祭事も行われます。

川とともに歩んできたまちの通史と幕末維新期の歴史にふれる旅

志国高知幕末維新博では、土佐一條家からはじまる小京都の歴史から、時代を経て幕末・維新期に四万十市で活躍した人物を紹介していきます。

四万十市立郷土資料館

巻末MAP

リニューアル工事のため2017年1月より休館中。2018年春から部分公開スタート予定。
市街地を見下ろす郷土資料館の建つ為松公園は、春は桜の名所でもあり、公園内には石垣や土塁などかつての城跡の名残が残されています。公園内は郷土資料館休館中も自由に散策できます。
☎0880-35-4096※休館中のお問合せは☎0880-34-7311
しまんとトロリーバス郷土資料館前下車徒歩2分
四万十市中村２３５６ Ⓟ有り

四万十市立中央公民館

巻末MAP

2017年3月4日から2019年1月末まで「しまんと特別企画展」開催。郷土資料館休館中の歴史資料の一部がこちらで見られます。
①維新展示　樋口真吉、幸徳秋水、遠近鶴明、木戸明、安岡良亮、佐竹音次郎、島村小彎など、幕末維新期の人物を紹介。
②通史展示“川とともに歩んできたまち”の歴史を原始から現代まで６つのテーマに分け4ヵ月ごとに展示を入れ替え紹介。
☎0880-34-7311　営9:00～17:00　¥200
休無休(年末年始と展示入れ替え期間は休み)
しまんとトロリーバス中央公民館前下車すぐ
四万十市右山五月町8-22 Ⓟ有り

四万十の旅をもっと楽しく、快適に

しまんとトロリーバス

駅～市街地周辺～沈下橋を循環。散策や宿泊に便利なボンネットバス。500円で1日乗降り自由。
土・日・祝日・夏休み・GW等に運行。
☎高知西南交通0880-34-1266

玉姫様の通行手形

対象宿泊施設にお泊りの方に、特典が付いてくる「通行手形」を配布。
(例)対象の市内飲食店での1品サービス、観光遊覧船・四万十川学遊館・レンタサイクル割引など
☎四万十市観光協会0880-35-4171

レンタサイクル

四万十川散策におすすめのレンタサイクル。各ターミナルで自由に返却。当日料金1,000円～。観光協会にて宿泊施設への荷物配送プランあり。
☎四万十市観光協会0880-35-4171
☎カヌー館0880-52-2121

しまんと「川バス」

沈下橋を眺めながら四万十川沿いを走る、中村エリア・西土佐エリアをつなぐ周遊バス。土・日・祝日・夏休み・GW等に運行。往復2,400円。観光遊覧船や道の駅など立ち寄り可。
☎高知西南交通0880-34-1266

周遊タクシープラン

「沈下橋観光コース」や「小京都散策コース」など、おもてなしタクシーで巡る快適プラン。料金5,900円～
☎市内タクシー会社（市外局番0880）
●鈴ハイヤー　34-2413　●平和観光タクシー　34-1414
●安全ハイヤー　35-3319　●すくもハイヤー　34-1313
●中村ハイヤー　35-2188

KIMONOLOILOI

キモノロイロイは、四万十市のレンタル着物サービス。観光協会で選んだ着物（浴衣）を持って地元の呉服店で着付け、小京都のまちを散策。浴衣3,000円／日、着物4,500円／日。
☎四万十市観光協会0880-35-4171

四万十市へのアクセス

志国高知幕末維新博 四万十市内会場案内

志国高知 幕末維新博
時代は土佐の山間より

お問合せ
四万十市観光商工課 TEL:0880-34-1783
（一社）四万十市観光協会 TEL:0880-35-4171
http://www.shimanto-kankou.com

2017年2月発行